



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日本ユニシス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8056 URL <http://www.unisys.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 茂

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 林 幸彦

TEL 03-5546-7404

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	190,626	5.3	2,723	△44.2	3,054	△38.3	1,695	—
25年3月期第3四半期	181,023	5.3	4,885	—	4,947	—	△2,032	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,645百万円 (264.2%) 25年3月期第3四半期 1,000百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	18.04	15.96
25年3月期第3四半期	△21.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	190,079	70,163	36.3
25年3月期	197,779	67,916	33.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 68,974百万円 25年3月期 66,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	7.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	4.0	12,000	44.4	11,300	35.9	7,000	459.6	74.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	109,663,524 株	25年3月期	109,663,524 株
26年3月期3Q	15,672,361 株	25年3月期	15,672,347 株
26年3月期3Q	93,991,123 株	25年3月期3Q	93,989,037 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による各種経済施策の効果により、景気回復が堅調に進んでおります。世界経済については、欧州債務危機・日中韓の関係悪化など、依然として不確実性は存在するものの、米国の景気が回復基調に入ったことを受け、先行きとしては、次第に回復力が増していくことが期待されます。これらを背景に、企業の業況については大企業をはじめ幅広く改善しており、設備投資は非製造業を中心に持ち直しの動きがみられます。一方で、国内の情報サービス市場については、ソフトウェア投資の回復傾向が鮮明になっていることを受け、回復に向かっておりますが、競合他社との競争はさらに激化しており、当社をとりまく経営環境は引き続き厳しい状況にあると認識しております。

このような環境の中、日本ユニシスグループは、さらなる企業価値向上を目指し、3カ年の「中期経営計画2012→2014」の2年目として、「コアビジネスの拡大」により収益基盤を確固たるものにし、「新ビジネスへの挑戦」により共創/BPOビジネスおよび社会基盤ビジネスを成長軌道にのせることで新たな収益源を創出することに取り組んでまいりました。また、これらの取り組みを加速させるべく、2012年に業務提携した大日本印刷株式会社との協業ビジネスの積極的な展開を図ってまいりました。さらに、人事制度改革やコスト構造改革などの「経営基盤の強化」にも取り組んでまいりました。

まず、「コアビジネスの拡大」については、地方銀行で多くの導入実績を持つ次世代オープン勘定系システム「BankVision®」が、新たに1行で採用が決定され、累計10行の採用実績を達成いたしました。また、リース業界で25%以上の導入シェアを持つリース業システム「LeaseCreation®」の後継である「LeaseVision® (CoreCenter® for Lease)」の発売を開始し、すでに2社で採用が決定され、今後5年間で70社への導入を計画しております。さらに、製造業を中心とした購買・調達部門向けのサプライヤー分析ソリューションである「eBuyerBrains®」の、大手輸送用機器メーカーおよび大手電気機器メーカーでの採用が決定いたしました。このほか、札幌市から高齢・障がい福祉システム、大手自動車メーカーから国内最大級の社内ポータルシステムの全面更改案件を受注いたしました。

「新ビジネスへの挑戦」については、大手分析・計測機器メーカーと車両運行管理、テレマティクス(注)分野での協業を開始し、クラウド型運行管理システムの運用を開始いたしました。今後、両社は大量に蓄積される車両の運行データを解析することで、低燃費ルート・安全ルート・最早ルートの案内や、効率的な物流システムや安全運転につながるシミュレーション機能の提供を計画しております。また、大日本印刷株式会社、株式会社図書館流通センター、丸善株式会社と共同で、図書館向けクラウド型電子図書館サービスを刷新し、新サービスを4月から提供開始する予定であり、今後5年間で300図書館への導入を計画しております。

最後に、「経営基盤の強化」については、人材最適化およびコスト構造改革として、間接要員から運用業務要員へのシフトや事務所更改による固定費削減を引き続き進めております。

以上のように、中期経営計画の達成に向けて日本ユニシスグループ一体となって取り組んでおり、全体としてほぼ順調に進捗しております。

(注) 車両に携帯電話、専用無線機器、インターネット等の通信システムを組み合わせ、情報サービスを提供すること。

当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高はサービスおよびハードウェア売上が堅調に推移した結果、売上高合計で1,906億26百万円（前年同期比5.3%増加）となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の抑制などコスト削減に努めたものの、前年同期に高採算案件が集中した反動から前年同期比で売上総利益が減少しており、営業利益は27億23百万円（前年同期比44.2%減少）、経常利益は30億54百万円（前年同期比38.3%減少）となりました。四半期純損益につきましては、前年同期は投資有価証券評価損48億31百万円を特別損失として計上したこと等により20億32百万円の損失でありましたが、当第3四半期連結累計期間は37億28百万円改善し16億95百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、売掛金の減少等により、前連結会計年度末比77億円減少の1,900億79百万円となりました。

負債につきましては、転換社債型新株予約権付社債を発行しましたが、買掛金の減少やコマーシャル・ペーパーの償還等により、前連結会計年度末比99億46百万円減少の1,199億16百万円となりました。

純資産につきましては、701億63百万円となり、自己資本比率は36.3%と、前連結会計年度末比2.7ポイント改善いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、当期の業績予想につきましては、平成25年5月9日発表の平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

(通期) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	275,000	12,000	11,300	7,000	74.48
今回修正予想 (B)	280,000	12,000	11,300	7,000	74.48
増減額 (B-A)	5,000	—	—	—	—
増減率 (%)	1.8	—	—	—	—
前期実績	269,170	8,311	8,315	1,250	13.31

(通期) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	170,000	7,000	8,500	5,700	60.64
今回修正予想 (B)	175,000	7,000	8,500	5,700	60.64
増減額 (B-A)	5,000	—	—	—	—
増減率 (%)	2.9	—	—	—	—
前期実績	171,379	4,119	6,634	746	7.94

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,274	25,270
受取手形及び売掛金	69,189	52,206
商品及び製品	6,043	13,354
仕掛品	2,594	7,770
原材料及び貯蔵品	178	292
繰延税金資産	6,024	6,843
その他	14,878	11,312
貸倒引当金	△145	△84
流動資産合計	124,037	116,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,338	3,125
機械装置及び運搬具(純額)	6,276	5,312
その他(純額)	3,909	3,594
有形固定資産合計	13,524	12,032
無形固定資産		
のれん	2,072	1,969
ソフトウェア	21,926	20,334
その他	93	71
無形固定資産合計	24,092	22,375
投資その他の資産		
投資有価証券	14,586	16,645
繰延税金資産	6,807	4,376
前払年金費用	1,523	3,794
その他	13,692	14,373
貸倒引当金	△484	△483
投資その他の資産合計	36,124	38,706
固定資産合計	73,742	73,113
資産合計	197,779	190,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,517	20,781
1年内返済予定の長期借入金	2,290	1,783
コマーシャル・ペーパー	13,000	—
未払法人税等	753	241
請負開発損失引当金	1,757	2,756
その他の引当金	650	699
その他	32,688	26,649
流動負債合計	76,657	52,912
固定負債		
社債	10,000	10,000
転換社債型新株予約権付社債	—	15,181
長期借入金	39,560	38,440
繰延税金負債	47	54
退職給付引当金	958	1,000
その他の引当金	665	625
資産除去債務	1,281	1,301
その他	692	400
固定負債合計	53,205	67,003
負債合計	129,863	119,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,483	5,483
資本剰余金	15,281	15,281
利益剰余金	63,141	63,661
自己株式	△19,344	△19,343
株主資本合計	64,561	65,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,957	3,871
繰延ヘッジ損益	△13	21
その他の包括利益累計額合計	1,943	3,892
新株予約権	858	652
少数株主持分	552	535
純資産合計	67,916	70,163
負債純資産合計	197,779	190,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年12月31日)
売上高	181,023	190,626
売上原価	136,014	148,701
売上総利益	45,008	41,924
販売費及び一般管理費	40,123	39,200
営業利益	4,885	2,723
営業外収益		
受取利息	47	50
受取配当金	350	356
為替差益	81	202
その他	154	198
営業外収益合計	634	808
営業外費用		
支払利息	501	336
その他	70	140
営業外費用合計	571	477
経常利益	4,947	3,054
特別利益		
投資有価証券売却益	—	180
新株予約権戻入益	—	266
ゴルフ会員権売却益	1	8
その他	3	16
特別利益合計	5	471
特別損失		
固定資産除売却損	25	43
減損損失	387	119
投資有価証券評価損	4,831	577
ゴルフ会員権評価損	17	—
その他	97	1
特別損失合計	5,360	742
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△407	2,784
法人税、住民税及び事業税	338	318
法人税等調整額	1,239	769
法人税等合計	1,577	1,087
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,985	1,696
少数株主利益	47	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,032	1,695

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△1,985	1,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,940	1,913
繰延ヘッジ損益	46	35
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	2,986	1,948
四半期包括利益	1,000	3,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	953	3,644
少数株主に係る四半期包括利益	47	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。